

## ポストもの派・田窪恭治を動かす“感覚細胞”とは？初期作品から新作まで集めた個展開催

KOTARO NUKAGA は 8 月 24 日（土）から 10 月 5 日（土）まで、田窪恭治個展「感覚細胞 2019」を開催いたします。

本展では、田窪の原点である 1970 年代のオブジェ作品から、近年の壁画プロジェクト原画までの展示を通し、自身が“感覚細胞”と呼ぶものにしたがって表現を続けてきた田窪の歩みを振り返ります。

70 年代初頭からイメージをめぐるイベントの発表を重ね、ポストもの派を代表するアーティストとなった田窪。84 年には、行為の痕跡や記憶をまとう廃材に金箔を施したアッサムラージュを携え、ヴェネチア・ビエンナーレ日本代表を務めました。その後、住宅の解体プロセスを共有する《絶対現場 1987》を機に、特定の場の風景に寄り添う長期的なプロジェクトを手がけるようになります。フランス、ノルマンディー地方の礼拝堂再生は、家族を連れて現地に移り住み、11 年の歳月をかけて達成されました。

帰国後も香川県の「琴平山再生計画」や聖心女子大学のモザイク壁画制作など、勢力的に活動を続ける田窪が辿り着いたのは、自身の死後も表現の現場として成長を続けるであろう“風景芸術”そして“感覚細胞”という概念でした。日常に宿っていた細胞が、特定の場所の環境や歴史と融合し、姿形を変えながら再生され続ける。田窪がつくってきたものは、初期から一貫して、自身の“感覚細胞”に反応してきた結果生まれたものなのです。

今回、“感覚細胞”は CORQ®という正方形のブロックとして可視化され、会期中アーティストの手によって配置を変えられていきます。オープニングでは CORQ®を使った作品の公開制作も行われる予定です。ドローイング、オブジェ、模型などの展示に加え、KOTARO NUKAGA という場で細胞が再生されていくプロセスを共有することによって、作品に宿る細胞の存在を実感していただけることでしょう。

公開制作は 9 月 7 日（土）の 17:00 から、オープニングレセプションは同日 18:00 からを予定しております。多くの皆様にご参加いただき、そして展覧会をご高覧いただけますようお願い申し上げます。

### ■開催概要

展覧会名：感覚細胞 2019

アーティスト：田窪恭治

会期：2019 年 8 月 24 日（土）～2019 年 10 月 5 日（土）

開廊時間：11:00～18:00（火・水・木・土） 11:00～20:00（金） ※日月祝休廊

公開制作：2019 年 9 月 7 日（土） 17:00～

オープニングレセプション：2019 年 9 月 7 日（土） 18:00～

### ■会場概要

KOTARO NUKAGA 〒140-0002 東京都品川区東品川 1-33-10 TERRADA Art Complex 3F

アクセス：東京臨海高速鉄道りんかい線「天王洲アイル駅」B 出口より徒歩約 8 分

東京モノレール羽田空港線「天王洲アイル駅」南口より徒歩約 10 分

京急本線「新馬場駅」北口より徒歩 8 分



## ■アーティスト概要

### 田窪 恭治 ( Kyoji Takubo )

1949 年 愛媛県(日本)生まれ



多摩美術大学絵画科在学中の 1971 年、東京で初の個展「イメージ裁判」を開催。自らの身体行為を中心とするイベント性の強い作品を発表し、ポストモンの派を代表するアーティストとして注目を浴びる。

1980 年代には廃材を使ったオブジェを制作し、1984 年ヴェネチア・ビエンナーレに日本館代表として参加。その後、鈴木了二、安齊重男との協働プロジェクト《絶対現場 1987》に見られるような、制作プロセスや場の記憶を共有することで作品を立ち上げる試みを展開した。

1989 年、フランスのノルマンディー地方に一家で移住し、廃墟寸前だった礼拝堂の再生プロジェクトに 11 年がかりで取り組む。地元の人々に親

しまれる「林檎の礼拝堂」完成後、フランス政府から芸術文化勲章を授与された。帰国後は香川県金刀比羅宮にて「琴平山再生計画」を実施、聖心女子大グローバルプラザエントランスのモザイク壁画を制作するなど、作家がいなくなった後も表現の現場として生き続ける「風景芸術」を生み出している。

東京都現代美術館、愛媛県美術館、大原美術館など各地で個展を開催。作品は大阪国立国際美術館、愛媛県美術館など日本の近現代美術館を中心に、多数のパブリックコレクションに収蔵されている。多摩美術大学芸術学科客員教授、聖心女子大学グローバル共生研究所招聘研究員。

## ■展示作品一例



カルピス(CALPIS)  
ガラス瓶、紙  
1974  
7.5 x 7.5 x 29.5 cm



1/25 scale 第 2 次プラン模型  
桂材、鉛板、バルサ材、プレキシグラス、軽カル板  
1989  
56.5 x 160.0 x 91.0 cm



感覚細胞  
CORQ® (コルテン銅)  
サイズ可変 (各 10 x 10 x 2.5 cm)

## ■About KOTARO NUKAGA

KOTARO NUKAGA は東京・天王洲のギャラリー集合ビル TERRADA Art Complex 内に 2018 年秋に開廊。

一般化もしくは常識化された物事について、アートを通して改めて考えるきっかけを与えること、もしくはアートそのもののあり方について考えることをギャラリーの役割と考え、国内外の先鋭的なアーティストを紹介している。

<https://www.kotaronukaga.com>

## ■展覧会に関するお問合せ先

KOTARO NUKAGA 担当：稲葉詩音、倉智涼子

EMAIL : [info@kotaronukaga.com](mailto:info@kotaronukaga.com) URL : <https://www.kotaronukaga.com> TEL : 03-6433-1247 FAX : 03-6433-1257

Instagram : [https://www.instagram.com/kotaro\\_nukaga/](https://www.instagram.com/kotaro_nukaga/)

Facebook : <https://www.facebook.com/kotaronukaga.tennoz/>